

秋季彼岸会

並

総永代経法要

兼・墓地納骨(物故者)追弔法要

日時

9月21日(日) 13時30分

講題

「踏み出せば状況は変わる」

法話

北畠 顯諒師 (第21組本通寺住職)

ご講師からのメッセージ

お彼岸になりますと、頭に浮かんでくるのは、眼前の、炎と渦が巻く河の対岸に阿弥陀如来。わずか4～5寸の細い道。いわゆる二河白道の図でした。私は刑務所や少年更生施設で教誨師に任じられています。そこで彼岸会法要が勤まりますが、収容者の参拝は自由意思ですので、参拝者を募集するポスターが創られました。そのポスターを見て驚きました。河の岸につながる道に踏み出した男性は杖を持ち、2メートル程の幅広の道を歩んでいるのです。二河白道の事、知らんのかと思いました。しかし、ジッとみているうちに、そうか一步踏み出せば状況は変わるということだと気づきました。

最近、お彼岸が近づくと、躊躇していることはないかと考えるようになってきました。